

# 第51回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

|     |              |      |                     |    |     |
|-----|--------------|------|---------------------|----|-----|
| 競技日 | 令和4年8月20日(土) | 試合番号 | B10                 | 回戦 | 2回戦 |
| 種別  | 中学生          | 会場   | 函館アリーナ メインアリーナ Bコート |    |     |

| Aチーム          |    |        | Bチーム           |      |  |
|---------------|----|--------|----------------|------|--|
| 宇土市立鶴城中学校(熊本) |    |        | 函館市立本通中学校(北海道) |      |  |
| 得点合計          | 小計 |        | 小計             | 得点合計 |  |
| 39            | 20 | 前半     | 5              | 14   |  |
|               | 19 | 後半     | 9              |      |  |
|               |    | 第1延長前半 |                |      |  |
|               |    | 第1延長後半 |                |      |  |
|               |    | 第2延長前半 |                |      |  |
|               |    | 第2延長後半 |                |      |  |
|               |    | 7mTC   |                |      |  |

### 戦評

地元の声援をうけ3回戦に勝ち上がった函館本通と九州ブロック1位の鶴城。先制は鶴城の右サイド14番。速攻など出だしから果敢にシュートを打ってくるが、函館本通1番キーパの好セーブに阻まれる。開始1分半で鶴城は7MTで得点。函館本通は一人少ない状況の中でも右サイドからのシュートを決める。鶴城はコンビネーションプレイや個人技もあって着実に点を決めていく。前半7分、鶴城7MTで8点目。函館本通は素早いパス回しから右サイド9番がカットイン。鶴城も素早いパス回しからのカットインや相手のミスやルーズボールを見逃がさない素早い反応から、着実に点を取りに行く。鶴城リードのまま20-5で前半終了。

後半、両校はテンポの良いパス回しから点を取り合っていたが、函館本通はカットインから2回連続して7MT。鶴城は2名退場して少ない状態で戦うこととなる。後半9分、函館本通7MT。続いて鶴城が7MT。連続して両校に退場者が出る。両校5人対5人の中、函館本通2番がカットイン、さらに鶴城4番が早い走りだしの速攻、2番もインターセプトから一人速攻で得点。右サイド13番もカットインで決める。さらに左サイド4番からの得点。後半14分、函館本通がタイムアウト。徐々に函館本通の足が止まってきたのもあり、鶴城はインターセプトで前に出て攻めのDFになってくる。また、ミスからのこぼれ球を確実にマイボールして得点につなげていた。

後半18分、鶴城タイムアウト。函館本通はOFをダブルポストに変更し、ポストとのコンビプレイで2番がカットイン。しかし鶴城の堅いDFに阻まれ、39-14鶴城が勝利した。

記載者名

波間 直美